

取扱説明書 Ver 1.01

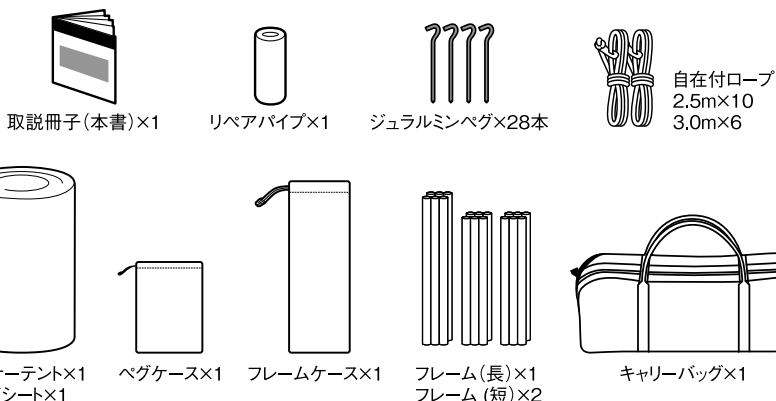
SDE-080

ヴォールト



このたびはスノーピーク製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。この製品はキャンプ用テントです。安全にご使用いただくためにも必ずこの取扱説明書をよく読んでからご使用ください。また、読み終わった後も大切に保管してください。製品には万全を期しておりますが、フィールドでご使用する前に安全な場所で組立、取扱い方法及び付属品の確認をしてください。説明内容で理解できない点及び製品に不具合が確認された際には、直ちに使用を中止しご購入いただきました販売店様もしくは弊社ユーザーサービスまでお問い合わせください。

■ セット内容



安全上の注意事項 ご使用の前によく読んで予測される事故を回避し安全にご使用ください。

⚠ 危険 明らかに生命にかかわる重大な事故が予測される行為を示します。

- このテントの素材は難燃性ではありません。テント内では燃烧式のランタンやコンロ、ヒーターなどの熱源や、マッチ、ローソク、ライター、タバコなどの裸火や炎は絶対に使用しないでください。限られた空間での火気の使用は火災の恐れがあり大変危険です。
- テント内で燃料を保管したり、燃料を補給するなど、引火性のあるものを持ち込まないでください。



⚠ 警告 場合により重大な事故に至る行為を示します。

- 気象状況には常に細心の注意を払い、風の強いときや悪天候が予想されるときは速やかにキャンプを中止して安全な場所へ避難してください。
- 高温に加熱されたものや発熱性のあるものを持ち込まないでください。天候によりテント内は高温になり、熱中症などの危険があります。お客様の昼寝の際など、細心の注意を払ってください。
- 風の吹き抜けるような場所や、雪崩、がけ崩れ、急な出水などの恐れのない地盤のしっかりとした、水はけの良い平坦な場所を選んで設営してください。

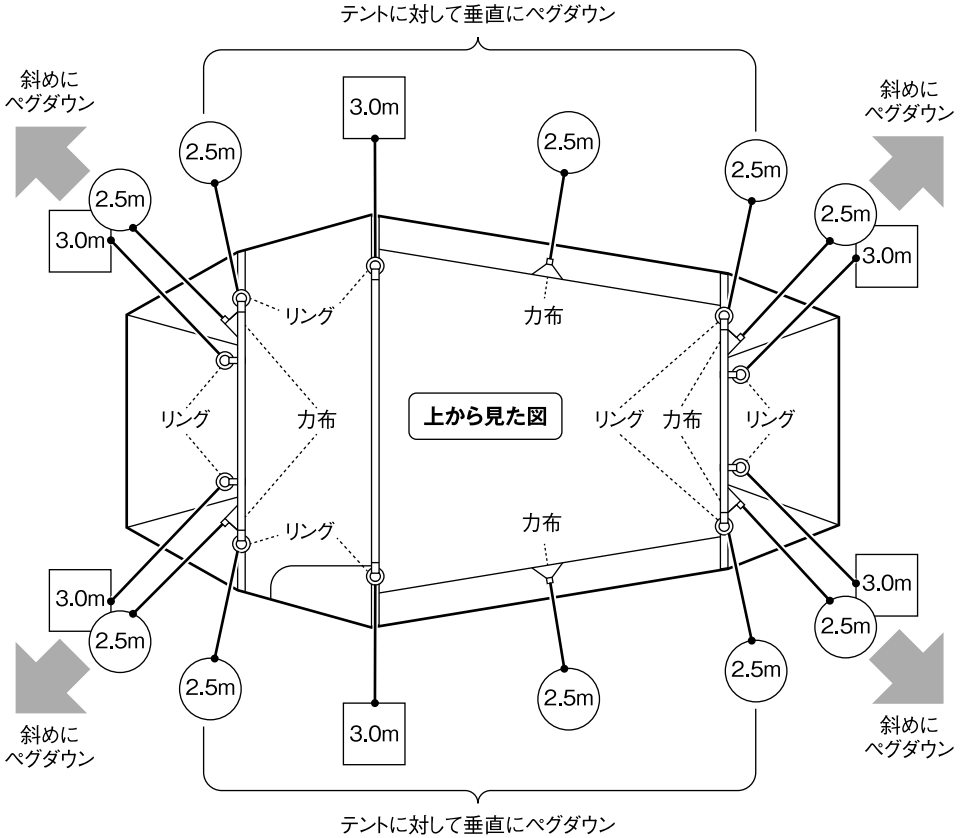


⚠ 注意 ケガや本体破損、物品破損として拡大損害の原因となる行為を示します。

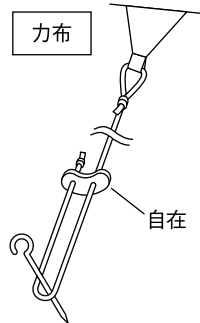
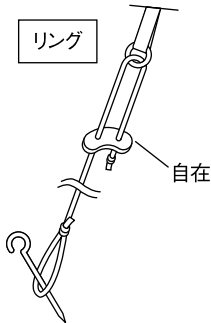
- 本製品は常設用ではありません。
- 日差しにより本体表面は低温やけどに発展するほどの高温になります。十分ご注意ください。
- たき火や花火などのそばで組み立てたり、使用しないでください。火の粉を被り、生地に穴を開けてしまう場合があります。
- テントの設営・撤収の際は、風に飛ばされないようフレームをしっかり支えて作業してください。フレーム先端のハネ返りなどで思わぬ事故に繋がる恐れがありますので必ず周囲の安全を確認してください。
- ベグや張り綱でしっかりと固定して使用してください。
- テント素材は長時間日光にさらされた場合、退色や生地劣化などの強度低下を起きますので、常設用として使用しないでください。

フライシートへの自在付ロープの取付けとペグダウン方向

※次ページ (P3) の手順に従って作業してください。



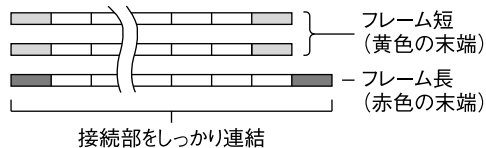
ロープの取付け方



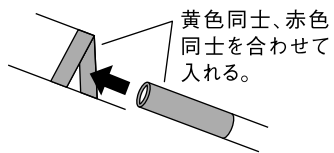
設営手順 必ず2人以上で設営してください。

- ① フライシート(ベージュ色)を平らな場所に広げます。
 ※基本的に前室は風下向けます。風上向けると、風雨が侵入するばかりかドアを開けた際に突然風が入り、本体を破損する場合があります。

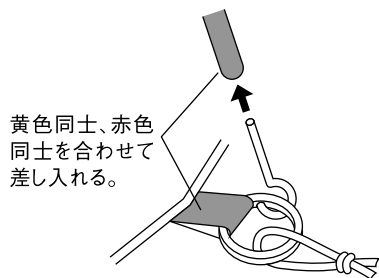
- ② フレーム長×1、フレーム短×2を伸ばし、接続部をしっかりと連結します。
 ※フレームの連結部分にすき間ができないように、しっかりと差し込んでください。



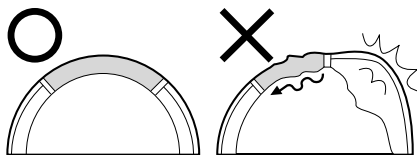
- ③ ★印の箇所を確認し、スリーブにフレームを通します。
 スリーブとフレームの末端の色を合わせて通します。



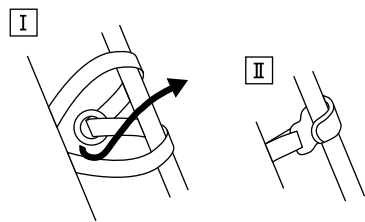
- ④ ▲印の箇所を確認し、フレームの末端にフライシートコーナーにあるピンを差し入れます。フレーム末端とコーナーテープの色を合わせてください。



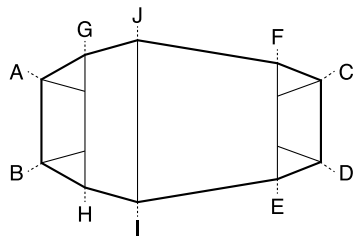
- ⑤ 反対側のピンも差し入れます。
 ※スリーブの位置が中央になる様に本体を調節しながら、ゆっくりとフレームの端部にピンを差し込んでください。一方から強引に押し込むと反対側が大きく湾曲し、フレームの破損の原因になります。反対側の人と声をかけ合いながら行ってください。



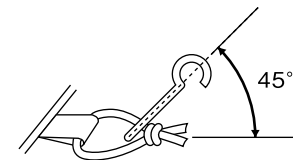
- ⑥ Iのテープをフレームに巻き付ける。
 IIのフックをフレームに掛けます。



- ⑦ 各コーナーループに下図の順でベグダウンします。

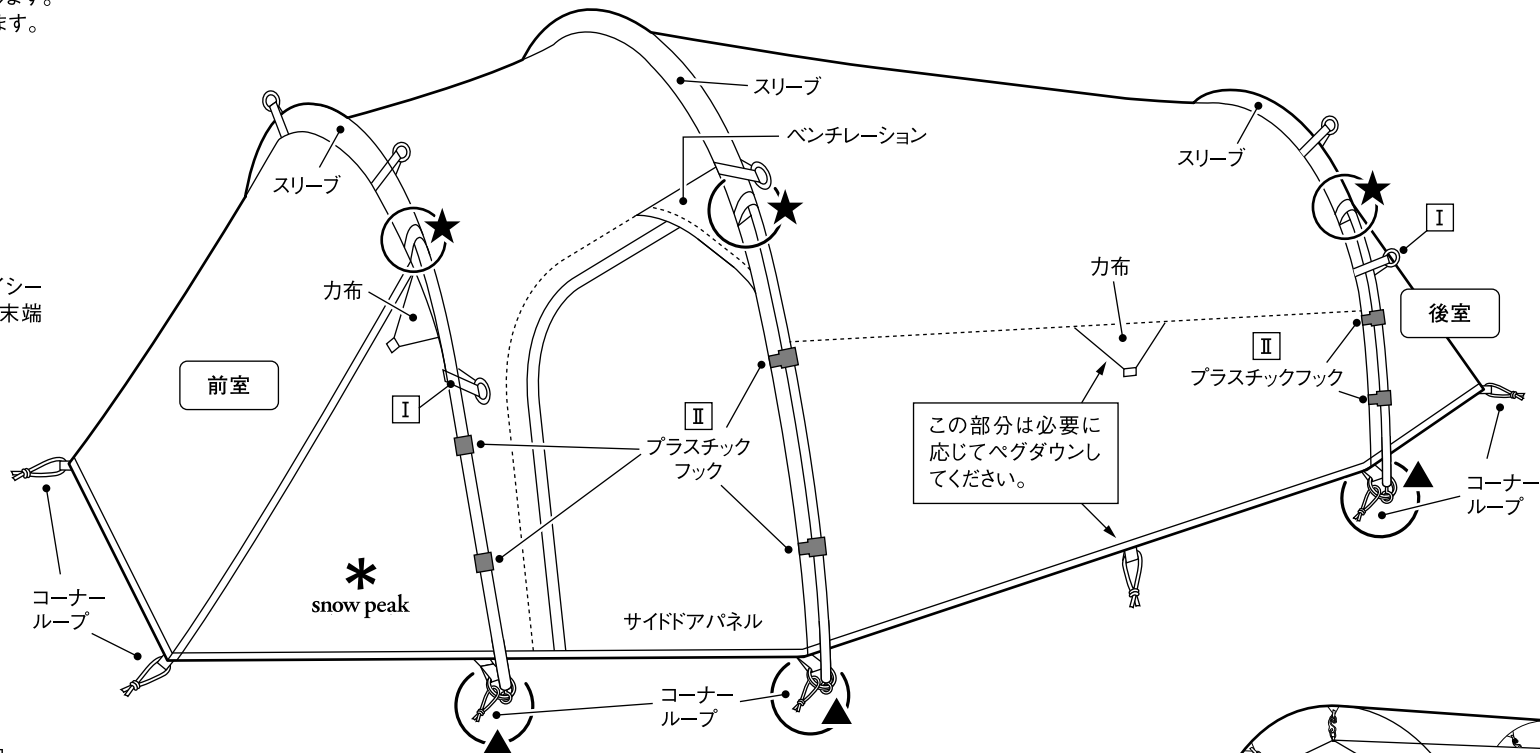


C、Dをベグダウンする時に全体を引張りながら、たるみの無いようにする。

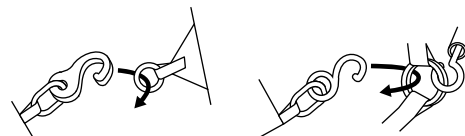


ペグは地面に対して45°で打ち込む。

- ⑧ 前ページ(P2)に従いロープを取付け、ロープもベグダウンします。

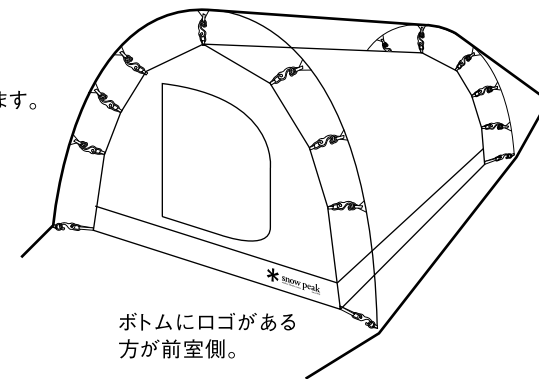


- ⑨ フライシートの中に入り、インナーテントを吊るします。



ウォール部はプラスチックリングに掛ける。

ボトム部はコーナーのリングに掛ける。



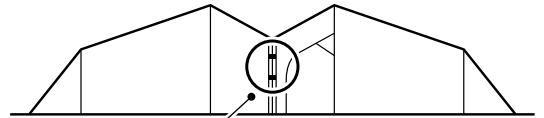
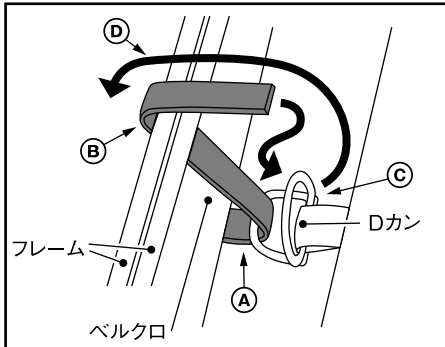
ボトムにロゴがある方が前室側。

ドッキング

本テントを2つ購入すると簡易的にドッキングが可能です。

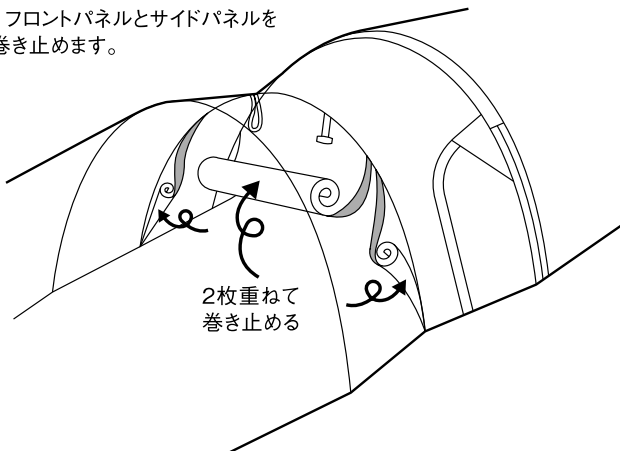
※完全にドッキングはできません。また、テント同士の連結機能は雨による漏水を防ぐ機能はありません。雨が予想される場合は連結を解除してください。

- ① 2つのテントの前室と前室(後室同士、もしくは前室と後室でも可)を合わせ、ベルクロで固定します。片側2カ所、計4カ所。

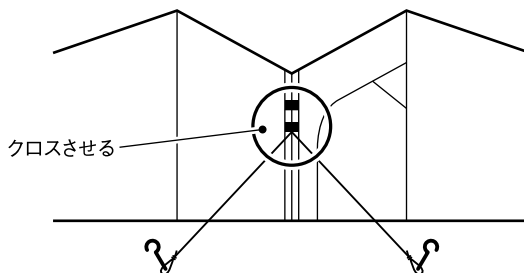


- ① テープを1つめのDカンに通します。
② 2本のフレームに巻き付けてください。
③ もう一方のDカンに通します。
④ 最後にベルクロで止めます。

- ② 室内に入り、フロントパネルとサイドパネルを2枚重ねて巻き止めます。



- ③ 自在付ロープをクロスさせ、ヘグダウンしてお互いに引き寄せます。



撥水・防水性能について

- 本製品はポリエステル生地を組合わせて使用しています。いずれの生地にも高性能の撥水加工を施していますが、生地の特性上、撥水性能(撥水の仕方や、耐久性)に若干の差が見られる場合があります。ご了承ください。
- 撥水加工は、ご使用を重ねますと撥水機能が低下します。撥水性が衰えてきたときは市販の撥水スプレーなどを使用してください。スプレーご使用の際は、スプレーの注意書きをよくお読みください。
- 防水性の高い生地を使用しておりますが、地面の水溜まりなどと長時間接触していると雨水が浸み、部分的に色が変わることがあります。

紫外線の影響について

- 本製品にはフライシートの生地にはUVカット加工を施しています。UVカット加工は、人体にとって有害な紫外線の透過を抑えると共に、生地の強度劣化を緩和します。
※UVカット加工は、紫外線による人体への影響や、素材劣化を防止するものではありません。
- テント素材は長時間日光にさらされた場合、退色や生地劣化などの強度低下を起こしますので、常設用として使用しないでください。
- 紫外線の影響と思われる素材の劣化により、耐久度合を超えたものは修理できない場合があります。

メンテナンス・保管

- 本製品にはポリエステル生地を組み合わせて使用しています。生地の特性を考慮し、できる限り色移りし難い加工と配色パターンを採用していますが、保管状態などにより、若干の色移りが発生する場合があります。ご了承ください。また、濡れたままの保管は避けてください。
- 濡れたまま保管すると、カビや異臭、生地の色うつり、生地の劣化などのトラブルの原因となりますので、使用後は風通しの良い日陰で十分に乾燥し、柔らかいブラシなどで汚れを落としてから保管してください。
※フレームを通した状態のまま逆さまにしないでください。フレーム折損や生地損傷の原因になります。
- フレームは表面の汚れを落とし、十分に乾燥させてから保管してください。濡れたまま保管すると腐食、強度が低下します。
ジョイント部分は常に清潔にし、少量のシリコン系潤滑剤を薄く塗布してください。塗布し過ぎると生地に油ジミができますのでご注意ください。
またフレーム内部のショックコードは不必要に引っ張らないでください。
- 高温多湿を避け、直射日光の当たらない風通しのよい場所に保管してください。
- ファスナーに泥や砂、ホコリなどが付着したまま使用すると摩耗し破損の原因になりますので、ブラシなどを常に清潔にしてください。また、スライダの動きを滑らかにするために、少量のシリコン系潤滑剤を定期的に塗布してください。塗布し過ぎると生地に油ジミができますのでご注意ください。
- 小さな生地の破損は市販のリペアテープで補修できます。補修の際はリペアテープの説明書を良くお読みください。
- ご使用により広範囲にわたり素材が劣化し、耐久度合を超えたものは修理できない場合があります。
- 次回の使用に備え、ベグなどの付属品も含め、十分に保守、点検をしてください。

こんなときは

Q:キャンプ場でフレームが折れてしまったとき

A:応急処置として速やかに付属のリペアパイプや添え木をあて、ビニールテープなどで固定するか、撤収してください。

Q:キャンプ場で本体生地が破れてしまったり、穴があいてしまったとき

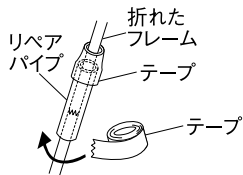
A:傷が広がらない為にも、速やかにガムテープなどで両面から貼り合わせるか、市販のリペアキットなどで補修してください。市販のリペアキットご使用の際は、リペアキットの注意書きをよくお読みください。

Q:撥水が衰えてきたとき

A:撥水加工は、ご使用を重ねますと撥水機能が低下します。撥水が低下してきた場所に撥水スプレーなどを使用してください。スプレーご使用の際は、スプレーの注意書きをよくお読みください。

Q:生地にカビが発生したとき

A:カビの発生箇所を乾拭きし、アルコールで滅菌処理してください。カビにより生地が着色された場合、取り除くことはできません。無理な除去作業は生地やコーティング劣化の原因となりますのでお避けください。



品質保証について

お買い求めいただきました製品は万全を期してありますが万一不備な点がございましたら、お買い求めの販売店または弊社までご連絡ください。製造上の欠陥が原因の場合は無償で修理または交換させていただきます。その他の場合は適正な価格で修理させていただきます。修理・交換の判断は弊社の裁量によるものとさせていただきます。また、以下の場合には保証、修理できない場合もありますので、あらかじめご了承ください。

1. 取扱説明書に従わなかったと判断した場合。
2. 素材の経年劣化による製品の寿命。
3. 改造及び粗雑な扱いによる製品の故障。
4. 不測の事故による製品の故障。
5. その他製造上の欠陥以外による製品の故障。
6. ゴミやサビによる故障。
7. 分解したことによる不具合の発生または破損。
8. 落下やその他の衝撃による部品の変形や破損による不具合。
9. 消耗品の劣化、破損、故障及び付随する不具合。
10. 他社製品との組合せによる故障。

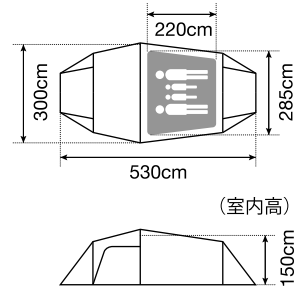
修理について

- 本格的な修理が必要な場合は、お買い求めになった販売店または弊社ユーザーサービス係までお問い合わせください。
- 修理を依頼される場合は、必ず十分に乾燥させ、汚れをきれいに落としてください。
- 修理品には修理箇所がはっきりと解るように、必ずメモまたは荷札を付けてください。また破損時の状況をできるだけ詳しく書いたメモを添えてください。
- 修理品の運賃並びに修理費については以下のように規定させていただきます。
 - 1.保証対象の場合：往復運賃並びに修理費は弊社にて負担いたします。
 - 2.保証対象以外の場合：往復運賃並びに修理費は、お客様のご負担とさせていただきます。

スペック

- 材質：本体／75Dポリエステルタフタ、PUコーティング耐水圧1,800mmミニマム・テフロン加工、UV加工 インナーテント／68Dポリエステルタフタ、ボトム／210Dポリエステルオックス、PUコーティング耐水圧1,800mmミニマム フレーム／A6061 (φ13mm)
- セット内容／テント本体、フレーム長(×1)、フレーム短(×2)、ジュラルミンペグ(×28)、自在付ロープ(2.5m×10、3.0m×6)、リペアパイプ(×1)、キャリーバッグ、フレームケース、ペグケース
- キャリーバッグサイズ：60×23×23(h)cm
- 重量：7.9kg

○対応人数：4名



(室内高)

不明な点やお気付きの点がございましたら、販売店様または弊社ユーザーサービスまでお問い合わせください。
スノーピークユーザーサービス
☎ 0120-010-660 (9:00~17:00)
E-mail: userservice@snowpeak.co.jp

株式会社スノーピーク

〒955-0147 新潟県三条市中野原456
tel:0256-46-5858 fax:0256-46-5860
www.snowpeak.co.jp

MADE IN BANGLADESH